おぢか議会だより

第 70 号　2010.1.8

謹賀新年

発行　小値賀町議会　広報常任委員会
TEL　0959-56-3111

新年あけましておめでとうございます。

昨年の政権交代は劇的でした。しかし、小値賀町にとってどのような変化が生じてくるのかまだよく分からないのが現状です。

小値賀町は自立した町を目指して日々努力しているのですが、人口の減少、第一産業の厳しい生産活動、それらにつながる商工業の伸び悩みなど、何一つ油断できないところです。

これからも後継者対策など含めた漁業、農業の活性化対策、商工業の育成等、しっかり取り組まなければならないと思います。あらゆる産業が元気になれば少子化の問題なども自ずと解決されるでしょう。

この数年、確実に育っているのが観光産業です。どこの自治体も三本目の柱として観光事業に力を入れているところです。交流人口が増大すれば町内の買い物客も増えることになり島の経済活動が活気づくことになります。古民家再生、民泊体験学習など幅広い観光を議会としても後押ししたいと思います。

それからお年寄りの福祉も大切なことの一つです。今年四月からの七十五歳以上の方にバスのパス券を発行することになります。同時に離島の渡海船もパス券を出すことになります。

小値賀町は高齢化率が40％を超えており今後とも老人福祉に力を入れていきたいものです。

去年の十一月末、議会活動として国会に要望書を携えて、複数の国会議員の方々に面会し、小値賀町の実情を申し入れてきました。国会中の忙しい中を気持ちよく対応して頂き十分にその成果があったものと思います。

我々議会議員一同も今年一年、小値賀町の発展のために町民皆様と一緒になって努力したいと思います。

最後になりましたが、町民の皆様にとって幸多い年でありますよう祈念申し上げます。

小値賀町議会議長　横山弘藏

平成21年 第4回定例会開催

小値賀町景観条例を制定

自然・伝統・文化などの宝を再認識し次世代に継承

12月16日から18日までの3日間平成21年第4回定例会が開催されました。議案は13件報告2件でその主なものは小値賀町景観条例の制定案でした。本町で初めての条例ですので、次に詳しく説明します。議案は総て原案可決です。

一般質問は5人の議員が登壇し、観光産業に関する問題、空港問題、校舎建て替えの問題、ゴミ問題、通学路の街灯に関する事などを質しました（6ページ～）。今回は中学3年生の皆さんが傍聴に訪れ熱心に聞いておられました。感想文は12ページに記しております。

補正予算は5ページに記しております。意見書は1つで「非核日本宣言」を求めるものであり、日本政府に核廃絶へ向けた取り組みを更に進めるよう関係諸国に働きかけることを要望するものです。

景観条例を制定するに至った経緯

平成16年に景観法が制定されたことにより、景観の維持に対して積極的な取り組みが可能となりました。

小値賀町におきましても自分たちの住む町の宝を再認識し、その維持や活用を図る取り組みがなされ始めていた時期でもあります。

折から、野崎島の教会が世界遺産の暫定リストに載ったことにより、その基盤として小値賀町全体の自然や生活文化や歴史伝統などに光が当てられることになりました。

世界遺産に関連した国や県の調査は、小値賀には豊かな自然に加えて歴史や暮らしと密接に発展してきた島としての素晴らしい景観があることを驚きを持って再認識させることになりました。

国や県からの助言もあり、また世界遺産認定の前提条件としての意味合いも加味して、小値賀の素晴らしい景観を維持し保全しかつ形成していくために、この度小値賀町独自の景観条例を制定することになりました。

この条例の目的

第一条には、目的として次のように書かれています。

小値賀らしい良好な景観の形成の促進を図り、もって生活環境の快適性の向上、地域の魅力や個性の創出、郷土への愛着や誇りの醸成、観光交流の促進及び文化景観等、良好な景観の次世代への継承に資することを目的とする。

この条例の基本理念

第二条には、火山活動

で形成された恵まれた地形とそのもとで培われた歴史や暮らしによって現在の景観を有することになったこと。

この景観は地形と歴史、人と人との繋がりの中で形成されてきたとして「絆（きずな）」という概念でとらえること。

そして、「絆（きずな）」を大切にした景観形成を進めることで小値賀町の魅力を高めながら、誰もが暮らし続けたい、訪れたいと思える景観作りを進めると書かれています。

責務

このような景観作りを行うに当たり、小値賀町の責務、町民の責務、事業者の責務を規定して景観の形成に努めるための手続きや禁止事項を決めています。

行為の制限と届け出

建築物や工作物などの新築、増築、外観の変更、修繕、模様替え、色彩の変更など、一定規模以上の建築行為等を行う場合、町への届け出が必要となります。（詳しくは建設課へお尋ねください。）

景観計画区域

小値賀町全域を景観計画区域に定めました。

景観区域の中でも特に良好な景観や景観の保全が必要な区域を重点景観区域として指定しました。次の通りです。

笛吹地区の一部
姫の松原地区
柳地区
新田地区
前方地区の一部
野崎地区

景観重要建造物と景観重要樹木の指定

地域のシンボル的な存在のもの、歴史や生活文化を感じさせるもの、地域に親しまれているもの、観光への活用が見込めるものを指定し、その保全と景観形成に努める事にしております。

景観審議会

町長の付属機関として設置します。

委員は8人以内で組織し、良好な景観の形成に関する事項について調査し、審議することになっています。任期は2年です。

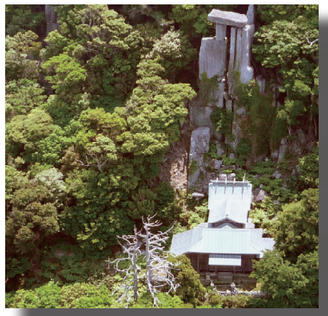
主な質疑

問　制限された行為の認知及び事前に届け出が必要な事柄について町民への周知徹底はどのように？

答　地区回りで説明するほか、印刷物の配布及び事業者への説明などを徹底します。

問　罰則規定などは？

答　景観法に規定されている内容が適応されます。



その他の条例の改正

小値賀町保育所設置条例の一部改正

前方保育所は昭和62年より休止の扱いをしておりましたが、今後保育所として利用する計画は無いので条例から削除することになりました。

小値賀町敬老祝金支給条例の一部を改正

百歳の祝い金に限っては基準日9月1日を見直して誕生日に支給することになりました。

小値賀町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

一般廃棄物処理手数料を見直しました。今まで事業所は特別な額を設定しておりましたが、一般の手数料と同額としました。廃棄物の量による料金は従来のままです。

小値賀町犬畜取締条例の一部改正

動物愛護の面から、表現が好ましくないので、文言を一部改正しました。

一般会計補正予算（第４号）

今回の補正予算は、政権交代により凍結された「子育て応援特別手当交付金」関係の予算の減額、離島開発総合センター耐震化工事に伴う予算の計上、国保診療所特別会計等への繰り出し金の追加、特別交付税の計上など2億3770万円を追加し、予算総額を31億5870万円にするものです。

前年度同期に比べ3億5615万円（12、7％）増額となっています。

主な歳入補正

地方交付税（特別交付税）4,000万円	
国庫支出金	1億31万3,000円
県支出金	1億541万6,000円
繰入金	980万8,000円減額

主な歳出補正

総務費	822万円
民生費	1,211万2,000円
衛生費	2,389万4,000円
農林水産費	98万8,000円
商工費	99万4,000円
消防費	45万2,000円
教育費	1億9,165万7,000円
公債費	63万2,000円

主な質疑と答弁

問　定額給付金給付事業の実績は？

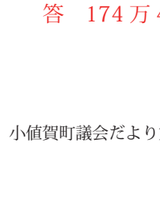
答　1357世帯、受給者は3067人。

問　新型インフルエンザ予防接種済み者は？

答　接種見込み者は1700人で接種済み者は12月18日現在311人。ワクチンが入り次第、順次接種します。

問　総合センターの耐震化工事はいつ頃になるのか。

答　繰越事業になると思います。まだ確定しておりませんが、来年の5月以降になると思います。



平成２１年度特別会計補正予算

簡易水道事業特別会計補正予算（第３号）

166万3,000円を追加し、
総額を9,165万2,000円にしました。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号）

43万6,000円を追加し、
総額を3,953万4,000円にしました。

国民健康保険事業診療所特別会計補正予算（第２号）

3万円を追加し、
総額を4億2,977万3,000円にしました。
主な質疑

問　当初の診療収入未済額の回収金額は？

答　174万4,000円のうち8万8,000円。

下水道事業特別会計補正予算（第３号）

21万4,000円を追加し、
総額を1億7,311万2,000円にしました。
主な質疑

問　修繕料の内容は？

答　バッテリーの取り替え。自家発電機の修理等。

渡船事業特別会計補正予算（第３号）

38万4,000円を追加し、
総額を6,303万9,000円にしました。
主な質疑

問　支出に併せた形で国からの補助金を調整しているのは総計予算主義から言っておかしいのでは？

答　本年急に決まったもので最終的な額が示されておらず、とりあえず支出に見合う金額を計上しました。今後注意します。

一般質問

定例会の初日に行われた一般質問では５人の議員が登壇し、校舎問題、ゴミ問題、
古民家再生事業などについて町の姿勢を質しました。
小値賀中学３年生の傍聴もあり、活気ある本年最後の議会となりました。

町民が誇れる学校づくりは？

小中高一貫教育と新校舎建設について

浦　英明議員

【質問】 小中高一貫教育は平成19年試行、20年から本格実施されているが、乗り入れ授業などについて、生徒側や先生側からの問題提起は？

【答】 筒井教育長

中学校と高校の間が約６００ｍ離れており、打ち合わせや雨の日などの移動が大変だと思いますが、先生方には頑張って頂いております。

授業参観をしましたが授業内容についてもスムーズに行われているようです。

【質問】 浦議員

耐震診断で耐震工事の必要性が示されたこと、校舎の耐力度調査の結果による建て替え問題などで、耐震工事か新築工事かの選択を迫られているが現段階の方向はどのようになっているのか。

【答】 筒井教育長

木造による小中学校の校舎新築を念頭におき、校舎建設検討員会で議論しているところです。

当初は高校の敷地内にとの考えもあったのですが、諸事情を勘案し、小学校敷地内に小中学校を建設する方向で検討しております。

【質問】 浦議員

小中合同校舎の建設費は木造で約６億円だとの概算が以前示されていた。小中高一貫教育を同様に行っている奈留小中学校の建設費が９億円との報道がなされている。それらを参考にすると現段階での建設費の概算はどれくらいになるのか。

【答】 山田町長

まだ、建設委員会で検討している段階です。教室の数や広さ配置及び設備の内容など、まだ具体的なことが示されておりませんので、建設費の新たな概算は出来ておりません。

以前示したのはあくまでも基準に対して最低の場合の内容を機械的に当てはめたものです。

【質問】 浦議員

校舎建設に対する今後のスケジュールは？

【答】 筒井教育長

今年度中に検討員会での合同校舎建設にかかる基本構想を作成、平成22年度に基本設計、その後実施設計し、出来れば23年度中に工事着工したいと考えております。

【質問】 浦議員

長野県の和田小学校を視察した。各教室の手洗い場設置、ＯＭソーラーシステム採用、不登校生徒のための相談室、ビオトープ（生物生息空間）など、参考になる事例があった。

良いところは採用すべきだと思うが見解は？

【答】 筒井教育長

いろんなところの優良事例を参考にしながら町民が誇れるような学校づくりに取り組んでいきたいと思います。

視察した長野県和田小学校の玄関（木造校舎）

古民家再生事業の効果をどう見る？

観光産業は不確定要素が大きい。見通しを聞く。

加山雅徳議員

【質問】 古民家再生事業として本年度当初に予算計上されている。工事の着工が遅れているようだが原因は？

【答】 山田町長

当初、古民家を活用した宿泊を借地借家法適用の一軒貸しで考えていましたが、県から旅館業法での宿泊業に該当する可能性があるとの指摘を受け、保健所や県の建築課地域政策課との調整に時間がかかったためです。

十一月に調整がつきましたが着工が遅れたために繰越事業になると思います。

前方旧藤松家

【質問】 加山議員

観光産業は不確定要素が大きい。町は古民家再生事業に力を入れているが、税金の投入額に対してそれに見合う効果はあるのか。

【答】 山田町長

現在のＩＴ協会の事業実績に加え、この事業により国内外から大人の観光客受け入れが図られ、新たな雇用が生まれます。

農業や漁業の体験を積極的に進めることで第一次産業の活性化が図られ、農水産物の地産地消、産品の販路拡大など小値賀経済の活性化につながると考えており町全体への効果は高いと思っております。

【質問】 加山議員

小値賀空港は県営空港であり、県の財産であるがこのまま活用されないようではもったいない。今後を町としてどのように考えているのか。

【答】 山田町長

県は、地域再生法に基づく転用の場合は、町への譲渡を考えているようですが、町としては転用は考えておりません。空港のまま残して、県が責任を持って管理してもらうのが一番だと思っております。

もったいない！小値賀空港 今のままでいいのか？

空港存続に一生懸命努力する義務が我々にはある！

【質問】 加山議員

今の滑走路を４００ｍ延ばすことで航空会社の誘致もしやすくなるし、利用価値も高まる。

滑走路延長に取り組むつもりは？

【答】 山田町長

採算性を考えると定期路線や不定期路線に結びつけることは難しいと思いますが可能性を求めて、県にも機会あるごとに話をさせて頂きます。

【質問】 加山議員

観光産業を町づくりの柱にしていくのであれば空港は必要だと考える。一端廃止になれば空港として復活することは難しい。大事な土地を手放した地権者のことを思うと、空港として存続させる義務が我々にはあると思う。町長の思いは？

【答】 山田町長

観光産業振興について空港があるということは有利だと考えます。

世界遺産に登録されることになれば、尚一層重要性が増すことになります。

県営空港として存続させることが一番だと思っており、再整備については国・県と積極的に協議をしていきたいと考えております。

皆さんにも協力を頂いて空港存続のために努力して参ります。

通学路の街灯を再点検せよ

観光にも対応した照明の工夫も視野に

土川重佳議員

【質問】 通学路の街灯が、松林や雑木林など民家を離れた場所では光が遮られたりして照明が十分ではない。

風致地区の問題もあるが枝の伐採作業、街灯が足りないところは新たに設置するなどの対応が必要だと思うが？

【答】 山田町長

雑木などにより光が遮られている部分については早速調査して対応致します。

また、その他の箇所については必要に応じて整備したいと思います。

【質問】 土川議員

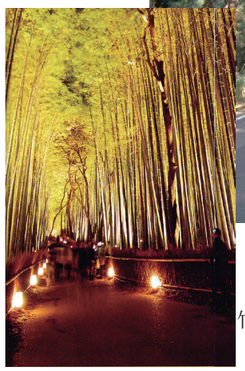
観光にリンクした整備も新たに考えてもいいのでは？

姫の松原など簡単に伐採ができないところは、地表からのライトアップを行うことで、新たな電柱の設置をしなくても済む。

新田の通り道においても灯籠のような照明を整備することにすれば夜の観光資源にもなるし通学路の照明にもなる。

観光を意識しながらの整備も検討してみてはどうか？

姫の松原　通学路



竹林ライトアップ例

【答】 山田町長

ライトアップの考え方や観光とリンクした街灯の設置など観光道路としての整備という観点も大事だと思いますので、関係機関と協議検討したいと思います。

循環型社会構築へ向けた諸対策を！

官民一丸となってゴミ問題に対応

岩坪義光議員

【質問】 昨今、ゴミの問題で全国的に最終処分場としての埋め立て地確保が難しくなってきている。

本町においても西目の最終処分場が今後どれだけ維持できるのか心配するところである。

また、焼却場の耐用年数なども気になるところだが、今後の見通しと計画はどうなっているのか。

【答】 山田町長

最終処分場については、実測量で推定するとまだ相当年数の埋め立て可能容量が残っており、現時点では新たな土地の確保や建設事業は考えておりません。

焼却場は、昨年度約4000万円をかけて大規模改修し、炉内の熱効率が大幅に改善しております。定期的な炉内清掃作業も実施しており維持管理に努めております。

専門家によれば、10年に一度程度の大規模な改修工事を行うことで長もちするとのことです。

【質問】 岩坪議員

県のゴミ処理広域化計画があるが、その場合と現在の小値賀単独で処理する場合の経費の違いは？

【答】 山田町長

昨年度、広域化計画の中間見直し検討会が行われ本町は現状通り単独処理を行うことで県の了承を取り付けています。

仮に新上五島町に海上運搬して処理した場合、処理負担金約4500万円と運搬費用約1300万円が必要となります。保管場所の経費など考えると現在の約二倍の経費が必要になると思われます。

【質問】 岩坪議員

ゴミ減量化は重要な行政課題である。循環型社会構築のための諸対策を実施しているが、本来ゴミ問題は住民の協力無くして解決しない。今後の取り組みに対する意欲を伺う。

【答】 山田町長

環境問題の観点からも重要な問題と認識しております。

生ゴミの堆肥化、資源ゴミの回収及び仕分け、ゴミ分別収集の徹底など町民の皆さんのご協力を頂きながら一丸となって取り組んで参ります。

ゴミ・ゼロを目指した政策を

ゴミ・ゼロ宣言をしてみんなで取り組む姿勢大事

立石隆教議員

【質問】 ゴミ問題は「対策」ではなく「政策」として取り組まなければならない。

徳島県上勝町のゴミ・ウェイスト（無駄ゼロ）政策を参考にして、本町においてもゴミゼロを目指すことを宣言し、町民と共に取り組むべき事柄と方向を示し、期限を切って目標に到達するという意気込みを打ち出すことが、ゴミ問題の抜本的な解決の道だと考える。町長の見解と今後の姿勢は？

【答】 山田町長

地球温暖化や今後の施設維持管理・更新などを考えたとき将来に対し、負荷をかけない方法への転換は推進していかなければならないと考えております。

上勝町（かみかつちょう）の事例も承知しており十分に参考にしたいと思います。

住民一人一人の自覚と行動が重要だとも考えます。

分別収集やストックヤードの確保など施設の整備を行い、近い将来ゴミ・ゼロ宣言を行いたいと思っております。

３４種類に分けられた資源物のかご

生ゴミは 100％土へ

校舎新築への思いは？

明るく温かみのある、地域に開かれた学校づくり

【質問】 立石議員

小中学校を木造で建設するという方向で検討がされているようだが、木造校舎のメリットとデメリットをどのように認識しているのか。

【答】 筒井教育長

メリットは、心理面に安らぎを与え、落ち着いて学習に取り組めること、木の持つ調音性や調湿性により、健康で快適な学習環境を生み出す効果があるところです。

デメリットとしては、シロアリや紫外線などによる劣化防止の対策、塗装など木材の寿命を延ばす対策など維持管理が大変であること。保険料も高いことなどが上げられます。

【質問】 立石議員

校舎の改築を機に学校給食の実施についても検討し建設基本構想に盛り込むべきではないかと考えるが見解を伺う。

【答】 筒井教育長

食育、地産地消の面から有効なものと思いますが、財政的なことも考えますと難しい問題です。検討委員会で協議したいと思います。

【質問】 立石議員

校舎建設に向けた教育長の理念は？

【答】 筒井教育長

町づくりの基本は人づくりだと考えています。

個性豊かな小値賀の児童生徒が育まれる学校づくりを目指して、明るく温かみのある校舎づくり、地域に開かれた学校づくりに努めたいと思います。

政権交代後初めての国会議員への陳情

農林水産副大臣室で歓談

北村衆議院議員

参議院議員会館で大久保議員と

山田農水副大臣と記念撮影

去る 11 月 30 日議員全員が町長と共に国会へ陳情に行って参りました。

前夜には本町出身の北村誠吾代議士にお会いして、これからの地方政治や小値賀の課題などについてゆっくりお話しすることが出来ました。ご多忙の中、時間を作って頂き感謝申し上げます。

先の政権交代により、主に陳情の相手は本県選出の民主党の国会議員の皆さんでした。

衆議院会館と参議院会館を訪れ、要望書を提出し、課題などについて説明しました。

新しい政権は、陳情などの受付を幹事長室に一本化することになっておりますが、本県の国会議員の皆さんからご呈示頂くようお願いしたところです。

超のつくほど多忙を極めている山田正彦農林水産副大臣には昼の時間を犠牲にしてまでも面会の都合をつけて頂きました。

離島の諸問題については、力強い応援の言葉を頂き一同感謝の念を抱きながら農水省を後にしました。

今回の要望は主に次の項目です。

- ○離島農業が成り立つ戸別所得保障制度の創設
- ○海上運搬の経費削減
- ○違反操業の取り締まり強化
- ○離島漁業再生支援交付金の延長
- ○磯焼対策
- ○グリーンツーリズム事業の普及推進
- ○農山漁村プロジェクト事業支援

校舎とゴミ　先進事例を視察

総務文教厚生常任委員会報告

高齢者による不要物再生ショップ

諸課題の中から、現在、取り組んでいるのは、校舎建設問題とゴミ問題の2つです。

新校舎建設は木造校舎を中心に検討委員会で審議されており、当委員会でも多方面の資料を基に協議を行っています。

ゴミ問題についても、西目の最終処分場の将来を見越した対策や焼却場の維持管理と広域処理計画などについて研究しております。

国会への陳情の機会を利用して先に挙げた二つの問題に関連した先進的な事例を研究するべく、長野県の和田小学校と徳島県の上勝町（かみかつちょう）を訪問視察しました。

和田小学校は、木造校舎としては全国でトップクラスの優れた校舎として有名で、たくさんの視察団が訪れています。

学校の規模はほぼ小値賀町と同じで児童数約一〇〇人ですが、教室はゆったりと広い空間を保ち、廊下の広さも通常の1,5倍以上はあり、各教室ごとに外のウッドデッキ（木製の床）に出られるように出口が配置されておりました。

音楽室の調音性の素晴らしさやランチルーム（昼食を取る部屋）の和やかな雰囲気など随所に木の醸（かも）し出す癒（いや）しの空間が広がっており、保健室や相談室に来る子供達が一人もいないという説明は素直にうなずけるものでした。

玄関の前にはビオトープ（生物生息空間）が作られ子供達の遊び場として、学習の場として有効に機能しているようでした。

また、ソーラーシステム（太陽光）を活用した空調設備も興味を引かれました。

12月2日は徳島の上勝町へゴミのゼロ・ウェイスト政策（無駄をゼロにする政策）について視察しました。

人口約2000人で高齢者率49％の山間部の町でしたが、ゴミは34種類にわけられなど分別が徹底されており、住民一人一人が無駄なゴミを出さないことを意識し実践している姿が印象的でした。

生ゴミ処理はすでに100％堆肥化が出来ていること、そしてゴミの約80％が再資源化していること、2020年までにはゴミゼロを目標として実践していることを説明して頂きました。

無駄なゴミを出さない考えの一環で、介護予防もかねた高齢者による再商品化作業と販売店運営、無料で品物のやりとりをする「くるくるショップ」の設置など、とても参考になる事例でした。

これらの視察を生かすためにも、さらに関連の資料を集め、今後も研究協議して参りたいと思います。

和田小学校内にある郷土の資料室

ランチルーム

観光と空港問題関連の研修

産業建設常任委員会報告

今後の委員会活動の方向付けを行うため、所管の事業・事務について調査しました。

畜産関連、景観計画、土捨て場問題、第一次産業振興策、観光産業化、古民家再生事業などについて協議検討したところです。

去る 12 月 1 日より小値賀空港の利活用について岡山航空株式会社及び世界遺産登録の石見銀山を視察研修しました。

岡山航空株式会社では、代表取締役に本町の空港の現状と問題点を提起し、今後の利活用について様々なご指導を頂きました。

島根県大田市においては世界遺産登録後の観光客の増加と経済効果、第一次産業への結びつきなどを伺いました。観光客は倍増になったが宿泊数が伸びないため経済効果が少なく今後の課題となっていることなどが示されました。

次いで大森地区を視察しましたが、公共施設も木造で、周辺の自然環境や文化景観に配慮するために、路線バスの廃止や電気自動車の導入などもなされ、積極的な景観作りの姿勢を見ることが出来ました。

今回の視察によって、空港存続の重要性を再認識しました。

本町が持つ自然環境及び文化的景観は、諸先輩が築き上げた貴重な財産でありそれを守り伝えていくことが我々の使命であることをあらためて認識しました。

景観の保全についても十分な施策が必要であることを実感した次第です。

石見銀山遺跡入り口

路線バスを廃止した街道の景観

旧家の保存

議会を傍聴した中学生の皆さんの感想文です。

実に新鮮な感覚で小値賀町の自治について考えて頂いたようです。

西　勇希君

小値賀町議会を傍聴して地方自治について勉強することが出来ました。

議会では、小値賀町をより良くするためにいろいろ調べたことを発表していましたが、私にとっては、とても難しかったです。

古民家再生事業について思った事は、今小値賀にはよく観光客が来ますが、その観光客が帰る時に一人一人が心から楽しかったと思わせることが大切な事だと思いました。前方の方にレストランを設けるという考えは、私も良い考えだと思いました。

小中高一貫教育について私は楽しみにしています。今まで何度か中高体育大会や、小中駅伝大会など先輩や小学生と一緒にする行事はどれもいい思い出ばかりです。

私は、初めてこのような議会を傍聴しました。学校でやる討論会とは全く違う緊張感と、はりつめた空気を感じました。とても勉強になりました。

近藤初音さん

議会を傍聴したのは初めてだったのでとてもよい経験になりました。

私が特に印象に残っているのは古民家再生事業についてです。観光はこれからの小値賀を支えていく産業だと私は思います。古民家再生事業もその一つだと思っていました。

しかし、議論を聞いていると、メリットになる面もあればデメリットになる面もあることに気がつきました。「今までやったことがないことを行う」というのはとてもリスクが高いことだと思ったし、逆に新しい試みを行うことで小値賀がもっとよくなるかもしれないとも思いました。

また、空港の存続問題や小中高一貫教育についての議題も、とても興味深い内容でした。すべて私たちの生活に関わることだったので、私たち町民も真剣に考えていくことが必要だと思いました。

今まで私は小値賀町の行政がどのように行われているのかよく知らなかったし、正直あまり関心がありませんでした。

しかし、今回の傍聴で、自分の住む町のことを一人一人がしっかり考え、常に関心を持つことが大切だと感じました。

これからは、自分なりに小値賀の未来を考えていこうと思います。

平田沙織さん

あまり聞くことがない議員の方々の会議を間近で聞くことができ、本当に良い経験になりました。

質問の中にあった「空港の存続について」は、県の所有財産であり、空港以外としての利用は難しいと思います。ですから、町の活性化のためにも空港として活用することを目指して頂きたいと思いました。

「小中高一貫教育について」は、現在私たちも経験しており、高校の先生方の指導を受けています。

3年生の私たちは、高校の授業に近い勉強をしており、少し難しく感じることもありますが、高校に入学したときにとまどわないためには、すごく良い事業だと思っています。行事なども合同で行うことが多くなり、楽しく活動できることはもちろん、小学生、高校生との交流も深めることができています。

校舎建設の問題も、場所や費用など大変な面もあると思いますが、多くの意見を取り入れながら頑張ってください。

私たちにとっては難しい内容の会議でしたが、行政のシステムや小値賀の問題がわかり、とても勉強になりました。

この他、中3生徒全員の感想を頂きました。感謝！

編集後記

テレビ、ラジオで気象予報士が「冬将軍」の到来を告げるニュースが流れている。本格的な寒さが来るのだろうか。

ここ数年間、温暖化で各地のスキー場は苦悩するほど雪不足であったが、天からの恵みで雪が降り大喜び。やっぱり寒いときは寒いほうがよい。農家の人、漁師の人にも豊作、豊漁につながればと思う。

諫早湾で10年ぶりにタイラギ漁が豊漁であるというニュースが流れる。漁師達は大喜び！

平成22年は寅年である。睨みをきかせ、不況風を吹き飛ばしてもらいたい気持ちである。

町民が活気づいて小値賀島が光って見える年でありますように。

岩坪義光